



WTA校幼初等部研修会開催される



9回目の授業日の先週29日に、標記の職員研修会が行われました。教室から帰った先生方は、お昼をゆっくり食べる間もなく研修会場に駆けつけ、中身の濃い研修を受けました。提案者は3名、今回は補習校ならではの短い指導時間の中で、いかに能率良く分かり易く学習内容を提示するかに焦点を絞り、パワーポイントを使つての提案と工夫された掲示物を使った授業の提案がありました。それぞれの先生方が、時間を掛けて準備されていること、子どもたちの喜ぶ顔を思い浮かべながらご自身も楽しみながら準備されていることが想像されました。前田教頭からは、板書の工夫についての話があり、今後「分かる授業、楽しい授業」を展開していく上で、

大いに参考になったのではないかと思います。

通常ホワイトボードに向かって板書すると、子供に背中を向けることになり、どうしても子どもの様子が見にくくなることもあり、こうして事前に道具を用意することで、子どもたちの顔を見ながら授業を進められるところが利点であるとお話があり、その通りだし理解を深める上でも有効な手段であると感じました。

発表された先生方だけでなく、他の先生方も様々な工夫をされて取り組んでいらっしゃると思います。週に一度だけの授業のために大変な努力をされていることに感謝の思いを新たにしました。

先週の日曜日にニュージャージー補習授業校の運動会に行ってきました。中高等部の生徒達が運営スタッフとなり、会の進行を中心に行っていました。勿論彼らも競技に出るのですが、うまく運営しているな、と感じました。晴天に恵まれ、緑の芝生の上で思いっきり競技する子どもたちの姿を見ることができ、とてもさわやかな気分になりました。

来週の12日にはLI校の運動会があります。NJに負けない元気いっぱい運動会にしたものです。



WTA校でも被爆体験者のお話を聞く会が開かれました。



初等部3年生から中高校生までの生徒が一堂に会してお話を聞きました。今回はボランティアの方がNHKの原爆の映像を用意してくれて、それを見るところから始まりました。そのお陰もあって、理解がスムーズにできたように感じました。